

平成29年度 基本評価調査

施策名	アイヌ文化の振興	所管部局	環境生活部	作成責任者	環境生活部長 小玉俊宏	施策コード	03 — 13
		照会先	アイヌ政策推進室 24-136	関係課	アイヌ政策推進室		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標
		3	人・地域	(4)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承	A	北海道独自の歴史・文化の発信と次代への継承
北海道創生総合戦略	A4211		北海道 強化計画		新・北海道 ビジョン		C08001、C08002、C08003、C08004、C08005
特定分野別計画等	アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画						

1 目標等の設定

現状と課題	施策目標					
	<p>・アイヌの人たちは長い歴史の中で民族として独自の伝統や文化を培ってきたが、伝承者の高齢化などからアイヌ語やアイヌ文化の継承・保存が急がれる状況にあることから、アイヌ文化を次世代に継承することができるよう、その保存・伝承を促進し、アイヌ文化の一層の振興を図るとともに、道民への理解の促進を図る施策を推進する必要がある。</p>	<p>・アイヌ文化の保存・伝承を促進し、アイヌ文化の振興を図るとともに、アイヌの人たちの伝統や文化に関する理解の促進に取り組む。 ・国が整備する「民族共生の象徴となる空間」が2020(平成32)年に公開されることや、東京オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機にしながら、アイヌ文化の発信を強化する。</p>				
施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	3(4)A	<p>【アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化】 〔国〕①アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとなる「象徴空間」の整備②「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組 〔道〕①象徴空間を核としたアイヌ文化発信の方策検討②東京オリンピック・パラリンピック開会式などでのアイヌ文化の紹介についての国などへの要請③「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組</p>			H27	368,980
		<p>〔市町村〕①象徴空間を核としたアイヌ文化発信の方策検討②「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組 〔関係団体〕①象徴空間を核としたアイヌ文化発信の方策検討②東京オリンピック・パラリンピック開会式などでのアイヌ文化紹介に向けたアイヌ古式舞踊の統一演目の作成、踊り手の育成等③「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関等と連携した取組及び独自の取組</p>			H28	368,788
				H29	434,055	

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	3(4)A	<p>【アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○象徴空間の着実な整備に向け、市町村・関係団体と連携し国への要請などを行う。 ○オリンピック開会式等での文化発信に向けて、(公社)北海道アイヌ協会が行う各地域の舞踊や音楽など、統一した舞踊等の作成などの取組を支援。 ○(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構が行うアイヌ文化振興のための事業に対する補助を行う。 ○アイヌ総合センターを運営する(指定管理)。 ○「イランカラブテ」キャンペーンの推進を行う。 ○フォーラムの開催などによるアイヌ文化の発信を行う。 		

＜前年度意見への対応＞

前年度 付加意見 (二次政策 評価にお ける付加 意見の内 容)		付加意見 への所管 部局の対 応 (H29年3月 末時点)	

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取組が必要な事項
		北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	新・北海道ビジョン	
3(4)A	・象徴空間の整備については、国に対し「国の施策及び予算に関する提案・要望」などのほか、様々な機会を捉えて要望しており、平成32年の一般公開に向けて、国において着実に進められた。	-	-	C08001	
3(4)A	・アイヌ文化振興・研究推進機構事業費補助金により、アイヌ文化振興法に基づく国の指定をうけたアイヌ文化振興・研究推進機構が実施する事業に補助し、アイヌ語指導者育成やアイヌ語の普及を目的とした弁論大会、アイヌ文化活動アドバイザー派遣などアイヌ文化の振興、小中学生向けの副読本の作成やイランカラプテキャンペーンなどの普及啓発等を行った。	-	-	C08002	
3(4)A	・道立アイヌ総合センターを運営することにより、広く一般に対し、アイヌの人たちの歴史認識や文化の伝承、保存などに関し理解の促進を図った。	-	-	C08003	
3(4)A	・イランカラプテキャンペーン推進協議会の一員として、国や関係機関、民間企業と連携してキャンペーンを展開し、道においては、キャンペーンイメージソング合唱動画を作製・配布したほか、期間限定でキャンペーンイメージソングを道庁本庁舎及び各(総合)振興局において庁内放送するなど、イランカラプテを北海道のおもてなしのキーワードとしての普及やさせ、道民や本道を訪れる方がアイヌ文化への興味・関心を持つためのきっかけづくりを行った。	A4211	-	C08004	
3(4)A	・平成27年度からアイヌ協会補助金により、北海道アイヌ協会が行う東京オリンピック・パラリンピック開会式等でのアイヌ文化発信に向けた準備の取組に補助し、古式舞踊などの地域間調整、担い手育成などに関して取組が進められた。	A4211	-	C08005	
3(4)A	・民族共生象徴空間の一般公開に向け道内外の機運醸成を図るため、ハワイや台湾でのアイヌ文化のPRを行うほか、釧路や平取など道内各地域において古式舞踊の披露などアイヌ文化発信に係る取組を行った。	-	-	-	

(2) その他の取組の成果等

国等提案・要望状況	<p>・「アイヌ政策推進会議(国主催)」に知事が出席し、東京オリンピック・パラリンピック開会式等でのアイヌ文化発信、象徴空間の整備等について発言(平成29年5月)</p> <p>・「国の施策及び予算に関する提案・要望」により内閣官房、関係省庁に「民族共生象徴空間の施設等の着実な整備」や「国主体の総合的なアイヌ施策を推進する根拠となる法律の制定」などを要望(平成29年7月)</p>	<p>施策に関する道民ニーズ</p>	<p>・アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告の政策展開に当たっての基本的な理念として「民族共生」という理念は、国際的にも追求されているものであり、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し合う共生的かつ多様な社会を目指す我が国においても、国民がこの理念を共有する必要がある。国民一人ひとりが、自分たちも一民族であると認識するとともに、アイヌという独自の先住民族が国内に生活していることを認識し、尊重するようになることが求められている。(*)」とされており、アイヌ文化の振興とアイヌの伝統等に関する理解の促進を図ることが必要。</p> <p>*「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告書(平成21年7月)」</p> <p>・「アイヌ政策を考える懇談会」(平成29年2月)においてアイヌ語などアイヌ文化の振興を図るよう意見があった。</p>
-----------	---	--------------------	---

平成29年度 基本評価調書

施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	03 - 13
-----	----------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
—	アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会を実現するため、庁内に「アイヌ施策推進連絡会議」を設置し、アイヌ文化の振興及びアイヌの伝統等に係る理解の促進に関することやアイヌの人たちの生活向上に関する協力を協議し国費要望に反映させていく。	—	各部・教育庁代表(企画担当)課	・平成29年7月「アイヌ施策推進連絡会議」を開催。平成30年度の国費予算要望の取りまとめを行うとともに、アイヌ政策を取り巻く最近の動向に関して情報提供などを行った。
—	庁内に「象徴空間整備等促進検討会議」を設置し、国が整備する「民族共生の象徴となる空間」に関して、道の各部の横断的な連携の下、必要な事項について協議。	—	総合政策部交通企画課	・「象徴空間整備等促進検討会議」などを通じて、国が進める象徴空間の整備など国の取組に関し情報提供などを行った。 また、国の会議の開催状況など、必要に応じて、適宜、情報共有を行った。
—		総合政策部地域戦略課		
—		環境生活部文化振興課		
—		環境生活部オリンピック・パラリンピック連携室		
—		経済部観光局		
—		水産林務部道有林課 水産林務部漁業管理課		
—		建設部道路課 建設部都市環境課		
—		教育庁文化財・博物館課		
3(4)A	「アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画」に基づき、関係部局とともに、文化振興施策の推進に取り組んでいる。	N1110	教育庁教育政策課、義務教育課、文化財・博物館課	・教育庁が実施するアイヌ文化保存対策・アイヌの歴史等に関する教育や文化振興課が行うアイヌ文化の情報発信などと連携し、アイヌの人たちの文化振興等を図った。
		N0314	環境生活部文化振興課	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
<p>「アイヌ文化情報発信ネットワーク会議」</p> <p>アイヌの人たちの歴史や文化などに関する道民の理解を促進するため、道と企業、関係団体などが情報を共有しながら、連携によるアイヌ文化の情報発信に向けた取組について検討を行う。</p>	<p>内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室、北海道運輸局、道内関係市町村、大学、博物館、関係団体、31の民間企業</p>	<p>・平成28年8月「アイヌ文化情報発信ネットワーク会議」を開催し、アイヌ文化の情報発信に向けた取組について検討し、各構成団体が行った普及・啓発に向けた取組を紹介して情報共有を行った。</p>
<p>「イランカラプテキャンペーン」</p> <p>アイヌ文化等の普及啓発をより一層推進するため、平成25年度から平成27年度の3年間で重点期間とし、民間企業や行政機関、学術機関等の連携により、アイヌ語のあいさつ「イランカラプテ」(「こんにちは」の意)を、「北海道のおもてなし」のキーワードとして普及させるキャンペーンを展開。平成28年度以降も継続展開中。</p> <p>キャンペーンの推進は、国、自治体等、学術機関、アイヌ関係団体により構成する「イランカラプテ」キャンペーン推進協議会が担い、キャンペーンに賛同いただく民間企業や一般の方々にサポーターとしての参画を募り、裾野を広げる。</p>	<p>国(内閣官房アイヌ総合政策室、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道運輸局、国土交通省北海道開発局)</p> <p>市町(札幌市、白老町、平取町)、大学(国立大学法人北海道大学アイヌ・先住民研究センター、札幌大学)</p> <p>関係団体(NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、公益社団法人北海道アイヌ協会、公益社団法人北海道観光振興機構、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構)、民間企業(北海道旅客鉄道株式会社、北海道空港株式会社)</p>	<p>・平成29年5月に道も参画する「イランカラプテキャンペーン推進協議会」において、キャンペーンに関する各構成団体が行った普及・啓発に向けた取組について情報共有を行った。</p>
<p>「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」</p> <p>2020年のアイヌ文化の復興等のナショナルセンター「民族共生象徴空間」の開設に向け、関係行政機関や関係団体、道内経済関係団体が一体となって、開設機運の醸成や100万人の来場者目標を掲げた象徴空間への誘客促進に取り組むとともに、道内各地のアイヌ文化振興の取組や食・観光等の地域の多様な魅力とつなぎ、国内外への総合的な情報発信を強化するなど、オール北海道で、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生の好循環を図ることを目的とする。</p>	<p>国、14の関係市町村、23の関係団体、32の民間企業</p>	<p>・平成29年2月「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク企画部会・活性化部会合同会議」による会議を開催し、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生に関する取組について検討し、情報共有を行った。</p>

平成29年度 基本評価調書

施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	03 - 13
-----	----------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	評価年度	H	達成度合の分析 ほか
	基準年度		年度		最終年度					
	基準値		目標値		最終目標値		年度	H	H	進捗率
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値			
							実績値			
							達成率			

指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	評価年度	H	達成度合の分析 ほか
	基準年度		年度		最終年度					
	基準値		目標値		最終目標値		年度	H	H	進捗率
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値			
							実績値			
							達成率			

指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	評価年度	H	達成度合の分析 ほか
	基準年度		年度		最終年度					
	基準値		目標値		最終目標値		年度	H	H	進捗率
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値			
							実績値			
							達成率			

● 本施策に成果指標を設定できない理由 アイヌ語やアイヌ文化の継承・保存等を端的に測ることのできる数値等がないことから、指標の設定は困難。	● 達成度合について				
	達成度合	A	B	C	D
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの繰越事業費 (千円)	平成29年度					創生 総合 戦略	強靱 化計 画	新・ 北海 道ビ ジョン	前年度 付加意見	付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点)	一次政策評価		
							事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)						点検事項		方向性
								うち 一般財 源	本庁	出先機関							人工計	付加意見への 所管部局の対応 (評価時点)	
計						0	434,055	421,819	4.5	0.0	4.5								

平成29年度 基本評価調書

施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	03 - 13
-----	----------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	0	0	0	0	0	-	
	0						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	・当該施策の基本となる「アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画」に掲げる各種推進施策に有効な取組を行っていることが確認できる。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	・要望書の提出や各種会議への参加により、国が行う象徴空間の整備など着実に進んでいる。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・毎年1回知事主催の「アイヌ政策を考える懇談会」を開催し、アイヌの人たちや有識者とアイヌ施策に関して意見交換を行い、ニーズの把握などを行い、施策への反映に努めている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	・文化振興施策を推進するため、関係部課と連携して、アイヌ文化保存対策・アイヌの歴史等に関する教育やアイヌ文化の情報発信を実施している。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	・企業や関係団体などと情報を共有しながらアイヌ文化の情報発信を実施している。 ・民族共生象徴空間の開設に向けて、関係行政機関や関係団体、経済関係団体などが一体となって開設機運の醸成や誘客促進に取り組むとともに、道内各地のアイヌ文化振興の取組や食・観光等の地域の多様な魅力とつなぐ情報発信をおこなうなど、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生の好循環に取り組んでいる。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
-	a	課題等はあるが引き続き推進

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			(関連する計画等)		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(4)A	2020年4月に開設する民族共生象徴空間の機運醸成や誘客促進を図るため、関係機関と連携し、道内外で象徴空間やアイヌ文化のPRを行う。	-	-	C08002、C08003、 C08004
②	3(4)A	東京オリンピック・パラリンピック開会式等におけるアイヌ文化の発信に向け、パフォーマンスの検討や実施体制の整備などの準備を進める。	A4211	-	C08001、C08005
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	03	—	13
-----	----------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見
前年度評価結果への対応(その他)	0213	アイヌ文化振興・研究推進機構事業費補助金	アイヌ政策を総合的に推進するため、引き続き主体となるべき国に対し、国の負担割合の引き上げ等必要な財源措置を求めること。

平成29年度 基本評価調書

施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	03 - 13
-----	----------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対	応
①	<新たな取組等> 民族共生象徴空間の機運醸成や誘客促進を図るため、「民族共生象徴空間開設準備支援プロジェクトチーム」を設置し、機運醸成や誘客戦略、地域連携等の方策について検討。 今後も引き続き、国や関係団体、民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワークに参画する各種ノウハウを有する民間企業等の協力を得ながら、道内外で象徴空間やアイヌ文化のPRを行っていく。 (拡充：民族共生象徴空間誘客促進・地域連携事業費)	
②	<新たな取組等> 道では、国費要望などの機会を捉えて、国に支援を要望しているところ。 また、北海道アイヌ協会においては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長への要請活動、演示の全体構成の構築、開会式での文化発信の枠組みなどの検討を行っており、引き続き、このような協会における準備のための取組を支援していく。	
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	03 — 13
-----	----------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分	方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計	次年度新規事業 (予定)
評価結果		0 事業	0 事業	4 事業	2 事業	0 事業	0 事業	0 事業	6 事業	
反映結果		- 事業	1 事業	4 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	6 事業	0 事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0209	アイヌ協会補助金	縮小	縮小
0213	アイヌ文化振興・研究推進機構事業費補助金	現状維持	現状維持
0214	アイヌ文化等の情報発信に関する事務	現状維持	現状維持
0215	アイヌ総合センター管理運営費	現状維持	現状維持
0210	アイヌ政策推進室総合調整等業務	現状維持	現状維持
0216	民族共生象徴空間リンクージ事業費	縮小	拡充

（2）二次評価結果への対応

意見区分	整理番号	事務事業名	所管部局の対応(今後の方向性) (H30年3月末時点)
前年度評価 結果への対応 (その他)	0213	アイヌ文化振興・研究推進機構事業費補助金	従来より、国費要望の中で国の負担割合の引き上げを要請しているところであり、引き続き、機会を捉えて国に必要な財源措置を求めていく。